

米国学術研究の動向

NIH、ACD が提示した BRAIN イニシアティブの今後12年間の展望を受諾（6月5日）

国立衛生研究所（National Institutes of Health : NIH）のフランシス・コリンズ所長（Francis S. Collins）は6月5日、NIH 所長諮問委員会（NIH' s Advisory Committee to the Director : ACD）から提示された「革新的な先端神経科学技術を通じた脳研究（Brain Research through Advancing Innovative Neurotechnologies : BRAIN）」イニシアティブの今後 12 年間に亘る展望に関する報告書「BRAIN 2025 ～科学的展望～（BRAIN 2025 : A Scientific Vision）」にある提案事項を受諾した。ACD の BRAIN 作業部会が作成した本報告書は、2016 年から 10 年間に亘って 45 億ドルを拠出するという継続的誓約に基づく同イニシアティブの展望の詳細を提示している。同報告書は、優先的科学的目標として、①健康・疾病時における役割を特定するために、異なる種類の脳細胞の特定と実験アクセスの提供、②シナプスから脳全体への神経回路図を様々な分解能で作成、③神経活動の大規模監視法の開発・応用による、機能している脳の動画作成、④神経回路のダイナミクスを変更する精密な介入ツールを用いた脳活動と行動の関連付け、⑤新たな理論・データ分析ツールの開発を通じて、精神機能の生物学的基本を理解するための概念的基礎の構築、⑥ヒトの脳とその生涯治療法を理解するためのイノベーティブな技術の開発と、総合的脳研究ネットワークの設立・支援、⑦健康・疾病時において、神経活動の動的パターンがどのように認識・感情・知覚・行動に転換されるかを発見するために、他の目標達成を進める中で生まれた新技術と概念的アプローチの統合、の 7 点を挙げている。これらの目標達成のための年間拠出額は、2016～2020 年度は最高 4 億ドル、2020～2025 年度は 5 億ドルとしている。なお、同作業部会は、BRAIN イニシアティブのための予算は NIH の既存予算に追加して拠出されるものとするべきことを強調している。

本報告書は、<<http://www.nih.gov/science/brain/2025/>>から閲覧可能。

National Institutes of Health, NIH embraces bold, 12-year scientific vision for BRAIN Initiative

<http://www.nih.gov/news/health/jun2014/od-05.htm>